

郵政民営化委員会（第１５回）議事要旨

日時：平成１８年１１月１５日（水） １５：２５ ～ １７：２５

場所：虎ノ門第１０森ビル５階 郵政民営化委員会会議室

（委員５名のうち、３名出席。大田委員、富山委員欠席）

- 郵便貯金銀行及び郵便保険会社の新規業務に関する調査審議の一環として、格付会社からのヒアリングを行った。
- まず、スタンダード・アンド・プアーズから、資料１－１に沿って、政府系機関の格付規準、海外の郵便事業・関連会社の格付、民営化後のゆうちょ銀行、かんぽ生命保険の信用力の見方等について説明があった。

これに関し、委員との間で、

- ・郵便貯金銀行とメガバンクとの格付の相違
- ・「暗黙の政府保証」に関する利用者の誤った認知が格付けに与える影響
- ・郵便局会社の評価が郵便貯金銀行の格付に与える影響

等に関して質疑があった。

- 続いて、ムーディーズ・ジャパンから資料２に沿って、銀行格付の基本的な考え方、政府支援の可能性要因の銀行格付への適用等について説明があった。

これに関し、委員との間で、

- ・政府出資があることの格付への影響
- ・郵便貯金銀行とメガバンクとの格付の相違

等に関する質疑があった。

- 次回委員会の開催日程については、別途事務局から連絡することとした。

（注）以上は事務局の責任でとりまとめたものであり、速報のため事後修正の可能性があることに御留意下さい。また、詳細については追って公表される議事録をご覧下さい。